

10月14日のウクライナ情報

安齋育郎

①ウクライナ、テルノピル市 TCC は警察とともに志願兵を絶えず狩っている【2024年10月11日】

<https://x.com/i/status/1844430834625020027>



<https://x.com/Z58633894/status/1844430834625020027?s=09>

②プーチンという欧米に友好的な指導者(マクレガー、2024年10月11日)

覚えておかなければならないのは、このプーチンという人物はロシアで今後現れるであろう指導者の中で、最も欧米に友好的な指導者だ

もし彼が姿を消し

別の誰かがその地位を引き継いだ場合

後継者は、はるかに扱いにくく

西側についての理解が

乏しい可能性が非常に高い

<https://x.com/i/status/1844518391534719155>



<https://x.com/4mYeeFHhA6H1OnF/status/1844518391534719155?s=09>

③フィンランドのジャーナリストの目覚め【2024年10月11日】

フィンランド人ジャーナリストのコスティ・ハイスカネン氏は、「ロシアに住みたい」フォーラムの参加者に、ドンバスのシンボルの一つである鍛造のバラを見せた。

「私は全世界に言いたい。ついに目覚めて、ロシアは全世界に善をもたらし、必ず勝利するということを理解せよ」と彼は語った。

<https://x.com/i/status/1844585959855456552>



<https://x.com/zov vs nato/status/1844585959855456552?s=09>

④日米加が世銀経由でウクライナに1兆5000億円を追加支援【2024年10月1日】



日本、米国、カナダは世界銀行に少なくとも100億ドル(約1兆4867億円)を追加で拠出し、新たなウクライナ支援基金を設置する。ウクライナ政府による汚職を防ぐため、世銀が直接、基金の管理にあたる。

世銀のロシア代表部がスプートニク通信の取材で明かしたところによると、世銀は10日の理事会で追加のウクライナ支援を賛成多数で可決した。支援金はマクロ経済の改革と安定、及び復興、再建に充てられ、軍事目的の利用は認められない。

世銀は欧州復興開発銀行と協力して基金の実施機関となることから、資金は財務報告、汚職防止に関する世銀の規則に従って運用される。

支金は日本や米国などの有志国が拠出し、凍結されたロシア資産は使用されない。ロシアは追加支援に反対したため、この拠出には参加しない。

ウクライナ(年間 GDP は 1606 億ドル)の国家債務は 1554 億ドルに達している。このうち対外債務は全体の 73%(約 1130 億ドル)を占める。

https://x.com/sputnik_jp/status/1844582501580472442?s=09

⑤ウクライナはワシントンの支援を受けて化学兵器を使用するつもりだ！(2024年10月11日)

ウクライナにおける化学兵器使用による計画的挑発行為へのワシントンの関与は、米国の公式代表者の声明によって証明されている。

<https://youtu.be/2TDV8NHudZ0>



<https://www.youtube.com/watch?v=2TDV8NHudZ0>

⑥マルク・ルッテ首相は、ウクライナがこれまで以上に NATO に近づいていると確信！(ザハロワ、2024年10月9日)

ゼレンスキーは勝利の計画ではなく、破滅の計画を持っている！

ロシア外務省の公式代表マリア・ザハロワ氏は、最新のブリーフィングでウクライナを巡る危機について語った。

<https://youtu.be/3RLahmqic-Y>



<https://www.youtube.com/watch?v=3RLahmqic-Y>

⑦ロシアはドニプロペトロフスクで2つのパトリオット・システムとともに10人の米軍兵士を破壊した【2024年10月10日】

10月10日の夜、ロシア連邦軍はウクライナ領土に再び大規模なミサイル攻撃を仕掛けた。ロシア軍の代表者らは、敵の後方地域にある数十の軍事目標が破壊されたとすでに報告している。特に、ロシアの弾道ミサイルとFABおよびODABファミリーの誘導爆弾は、ウクライナのハリコフ、キエフ、オデッサ、ポルタヴァ、ドニプロペトロフスクなどの地域で数十の敵の軍事施設を破壊した。

<https://www.youtube.com/watch?v=3RLahmqic-Y>



<https://www.youtube.com/watch?v=rfW6gahmlaI>

⑧岩屋外相 米国追従を否定 対宇政策は独自の判断と主張(2024年10月9日)

岩屋外相は8日の定例記者会見の席上、ウクライナ紛争のコンテキストで米国追従ではなく、独自外交への転換の必要性を問われたのに対し、対外従属を否定し、日本は独自の判断で対応を決めたと答えた。

質問の記者は、日本は岸田政権が米国に続いて一方的にロシアを「悪」とし、ウクライナに肩入れしたためにロシアから敵視されたこと、米国は大統領選挙の結果如何で対露政策の変更が予想されることの2点を指摘し、米国追従ではなく、露宇の和平実現を後押しする主体的外交への転換が必要ではないかと質問した。

岩屋外相の回答の主旨は以下の通り:

これは対外従属の問題ではない。

ロシアなりの言い分はあっても、国連の常任理事国が白昼堂々、隣国の独立国を力で現状変更したことは、国際秩序の根幹を揺るがす行為。

この行為を許しがたいというのは、日本独自の判断。米国の言うことを聞いたわけではない。

ウクライナにおける公正かつ永続的な平和の実現のために取り組み、ウクライナを引き続き支援する。 ➡ ※安齋注:な〜んだ、ちっとも変わらないじゃん♥基本認識から間違ってる。

質問の記者は、ウクライナ東部ドンバスでは紛争開始までの8年間、ウクライナ政府によるロシア系住民への差別、殺傷、民族浄化が行われていたにもかかわらず、その事実を上川、林両外相は全く認めなかったと指摘。岸田政権の対露制裁とウクライナ、63億ドル(9015億円)の支援をしたことで日本はロシアから敵視されたと明言していた。 ➡※安齋注:この記者はSputnikかな?

岩屋氏は石破内閣の外相就任後の初記者会見で、対ウクライナ政策では日本は現行の政策を維持し、対露制裁およびウクライナ支援の続行を明言していた。



<https://sputniknews.jp/20241009/19186568.html>

⑨ウクライナには「F16 が緊急にもっと必要」だが、フランスはミラージュ戦闘機を供与すると発表(Newsweek, 2024年 10 月 11 日)

<先週末に第一弾の F16 を引き渡したオランダの国防相はさらなる F16 が「緊急に必要」と語ったばかりだが>

フランスのセバスチャン・ルコルニュ国防相が、ロシアとの戦争で劣勢に立つウクライナに対して 2025 年の前半に戦闘機を送る計画を明らかにした。オランダもつい最近、西側の戦闘機の第 1 弾を引き渡したと発表したばかり。

仏戦闘機「ミラージュ 2000」は、「2025 年の前半にはウクライナ上空を飛行しているだろう」と、10 月 8 日発行の現地シュド・ウエスト紙にルコルニュは述べた。X(旧ツイッター)への投稿では、供与は 2025 年の第 1 四半期になると書いている。

フランスのエマニュエル・マクロン大統領は 6 月、ウクライナに最新のミラージュ 2000-5 型を提供すると発表。訓練のためにウクライナ軍のパイロットをフランスに受け入れるとも述べていた。ただし具体的に何機を供与するかは明言していない。

ミラージュ 2000-5 は仏防衛大手ダッソー社製の単発戦闘機で、ウクライナが現在運用している米戦闘機 F16 と同じ第 4 世代の戦闘機。装備を変えることで空中戦や対地攻撃など複数の役割をこなせる多目的型だ。

ウクライナのウォロディミル・ゼレンスキー大統領は 8 月初旬、ウクライナ空軍が西側製の戦闘機を使用していることを認めた。西側諸国はウクライナに戦闘機の供与を約束してはいたものの、なかなか引き渡しが進んでこなかった。

■本当は 80 機届くはずだが

西側諸国がウクライナに供与する支援の中でも最も重要視されている F16 戦闘機は、アメリカが 2023 年 8 月に正式に供与を承認し、同機を導入しているオランダ、デンマーク、ノルウェーとベルギーが計約 80 機をウクライナに供与すると約束したが、引き渡しは、予備部品の不足などで遅延が重なった。

航空戦力で優位に立つロシアに苦戦してきたウクライナにとって、F16 はたとえ少数でもロシア空軍に対抗する上で大きな助けになる。だが、ウクライナ軍が現在運用している戦闘機の数が少ないことを考えると、追加的な F16 の投入だけで形勢を一変させるのは難しい。

ウクライナは 8 月下旬に少なくとも 1 機の F16 を墜落により失っている。ウクライナ空軍によればこの F16 は「ロシア軍による大規模な空爆やミサイル攻撃を撃退しようとした」際に墜落し、空軍パイロットのオレクシー・メシ中佐が死亡した。

デンマークのメッテ・フレデリクセン首相は 8 月に、デンマークがいち早く供与した F16 がウクライナで「運用されていることをとても誇りに思う」と述べた。「これらの F16 は今まさに空を飛んでおり、パイロットたちは素晴らしい仕事をしている」

そして「残念ながら数日前にそのうちの 1 機は失われた」とつけ加えた。またデンマークのトルルス・ポールセン国防相は 9 月半ばに、デンマークはさらに 2024 年後半、第 2 弾の F16 を引き渡す」と明らかにした。

オランダのルーベン・ブレケルマンス国防相は 10 月 6 日、ウクライナに第 1 弾の F16 を引き渡したと述べ、さらなる F16 が「緊急に必要とされている」と語った。何機の F16 を引き渡したのかは明らかにしなかったが、残りの F16(今回の分と合わせて計 24 機)が「今後数カ月のうちに引き渡される予定」だと述べた。

ルコルニユはウクライナに供与するミラージュ 2000-5 について、ウクライナの要求に合わせて対地戦や電子戦に対応できるように機体を改修しているところだと明らかにした。



<https://news.yahoo.co.jp/articles/64f14794a294d9f458a9273016292fc9096c287c/images/000>

⑩特別軍事作戦 10月5日～11日の概要 露国防省(2024年10月11日)

ロシア国防省は、特別軍事作戦の進捗状況に関する週報を発表した。スプートニクが最も重要な項目をまとめた。

ロシア軍はドネツク人民共和国の集落オストロフスコエを解放した。

ウクライナ軍の過去 1 週間の人的損失は最大 1 万 4430 人。

ロシアの防空システムは過去 1 週間にドローン 603 機、高機動ロケット砲システム「HIMARS(ハイマース)」から発射された 33 発、「ATACMS(エイタクムス)」ミサイル 3 発、「Hammer(ハンマー)」爆弾 3 発、改良型ミサイル「S200」を撃墜した。

特別軍事作戦

10月5日～11日の概要
露国防省



<https://sputniknews.jp/20241011/10511-19196567.html>